

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、
奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興 (67) 県立大学の教育の充実

ここまで良くなりました

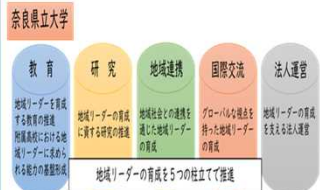
R4予算案 831,393千円 [債務負担行為 156,600千円]

第2期中期目標を策定しました。
(目標期間: R3~8年度)

県立大学の教育環境の充実を進めています。

〇「地域の経済・社会・行政等の分野で活躍する地域リーダーをつくる」ことを目標に、その人材輩出のため、5つの柱立てで推進
OR3年度より第2期中期目標による法人運営を開始

OR2年8月、少人数対話型教育(コモンズ教育)を実践する施設としてコモンズ棟を整備
OR2年6月、地域創造研究センターを設置し、R3年度より新たにURA(リサーチ・アドミニストレーター)を配置



1. 第2期中期目標達成に向けた取組の支援 (646,337千円)

- ①少人数対話型教育(コモンズ制)の推進
- ②地域創造研究センターの運営
- ③学生の海外留学支援
- ④外部研究者等との共同研究の推進
- ⑤附属高等学校(R4年4月開校)における課題探求型教育の開始
- ⑥工学系第2学部設置準備の推進
三宅町での新キャンパス整備に先がけ、現キャンパス(奈良市)での令和7年度先行設置を目指した検討を加速化



もっと良くするために

工学系第2学部の設置に向けた検討を進めます。

県立大学の教育環境の充実を進めます。

〇県立大学工学系第2学部の設置(三宅町)に必要な基本計画等を策定

〇県立大学で様々な業務運営を実施(463百万円)
・「少人数対話型教育(コモンズ制)」により、地域に貢献できる優れた人材を育成
・国内外における「フィールドワーク」により、引き続き地域課題に主体的に取り組む人材を育成
・地域創造研究センターを運営し、共同研究等を推進
・外部研究者等との共同研究の推進 等
〇(仮称)教育研究棟やクラブハウスの施設整備(114百万円)(債務負担行為157百万円)

令和4年4月に県立大学附属高等学校を開校し、高度な高大接続を推進します。(254百万円)

〇県立大学教員によるフィールドワーク等の探究学習や、ICT活用教育やライフキャリア教育を展開するとともに、県立大学の講義やゼミに参加し、単位認定を行うAPプログラムの導入や、他大学への進学を目指す生徒にも、その進路を実現するための学習指導を実施



2. 県立大学及び附属高等学校の就学支援 (70,756千円)

- ①県立大学修学支援補助金
授業料及び入学金の減免に対し補助
- ②(新)附属高等学校就学支援金
高等学校等就学支援金を支給し教育費の負担軽減

3. 県立大学の施設整備 (114,300千円、R5債務負担行為 156,600千円)

- ①クラブハウス棟の建設
R4~5 建築工事
- ②(新)(仮称)教育研究棟の基本・実施設計
附属高校からの進学者増等に対応する施設整備
R4~5 基本・実施設計
R6~8 建築工事

県立大学の整備



令和4年度予算案 831百万円 [債務負担行為 157百万円]

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 市川課長補佐(内線2576)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(68) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化

ここまで良くなりました

令和元年度から6年間の第3期中期目標・中期計画を定め、**医大の改革**をさらに進めてきています。

奈良県立医科大学の将来像(教育分野の理念)

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

(医大への期待)高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応

○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)

○県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

高度医療	<ul style="list-style-type: none"> 高度医療における患者の理解と、自己選択を促すコミュニケーションを習得する学習 臨床研究中核病院の認定取得 質の高いがん治療実施比率の向上 	
急性期医療	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療における患者の理解と受容を促すコミュニケーションを習得する学習 特定行為研修を修了した看護師数の増加 ER型緊急医療体制の確立 災害医療チームの育成 	
慢性疾患	<ul style="list-style-type: none"> 患者に寄り添うコミュニケーション学習 特定行為研修を修了した看護師数の増加 総合診療科に在宅医療部門設立 	



もっと良くするために

第3期中期目標・中期計画の進捗管理を行うとともに、第3期中期目標達成に向けた**取組・運営に対する支援**を行います。

○**県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理(2百万円)**
「医大の将来像実現推進会議」を年に複数回開催し、県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進

○**第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,328百万円)**
県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、運営費交付金及び中期目標達成促進補助金等を交付

【運営費交付金】
医師・看護師の養成等業務運営に必要な経費の財源に充てるため、県立医科大学に対し運営費交付金を交付

【中期目標達成促進補助金】
第3期中期目標の達成に向け、県が重点的に促進する県立医科大学の取組に対し補助(主な対象経費)・心の教育を実現するための講座(「医師・患者関係学講座」)の運営経費
・奈良学・在宅医療学の運営経費
・在宅医療支援センターの設立・運営経費 等

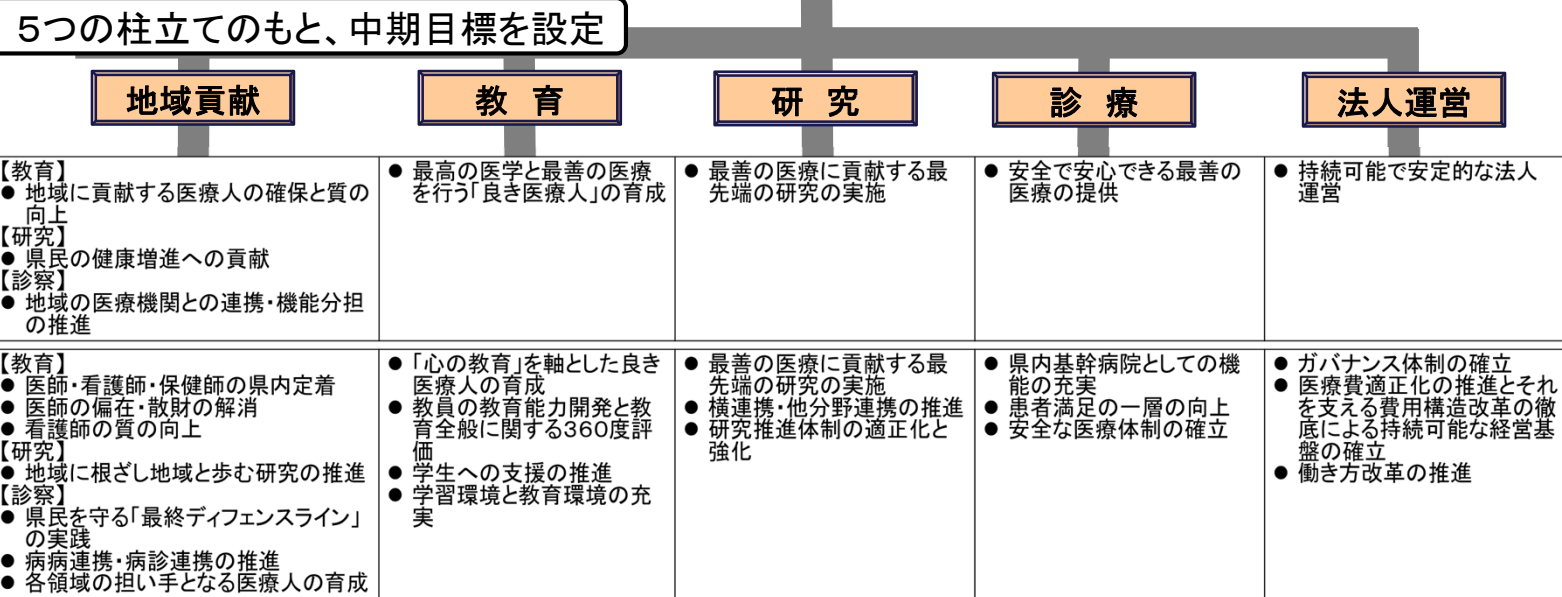
令和4年度予算案 5,330百万円



R4予算案 5,330,268千円

- 県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理(1,577千円)**
「医大の将来像実現推進会議」を開催し、**県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進**
- 第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,328,691千円)**
県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、**運営費交付金、中期目標達成促進補助金等**を交付
【中期目標達成促進補助金対象経費】
・心の教育を実現するための講座の運営経費 ・奈良学・在宅医療学の運営経費
・在宅医療支援センターの設立・運営経費 等

医大に期待すること
高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応する
○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)
○県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献



<問い合わせ先>
医療政策局
病院マネジメント課 吉川課長補佐(内線3162)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(69) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化

ここまで良くなってきました

中国清華大学(R1年～)、スイス・ベルン応用科学大学(R1年～)、スイス・リース林業教育センター(H28～)との連携を進めています。

○中国清華大学と、覚書に基づく交流を進めるため、WEB会議などを活用し、奈良の歴史文化資源を活かした文化・芸術分野での交流等、具体的な交流事業について協議を進めました。

○スイス・ベルン応用科学大学と、高齢化社会の課題や取組などに関する意見交換等を実施しました。

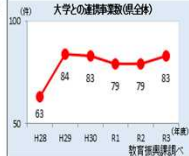
○スイス・リース林業教育センターの協力を受け、森林管理を担う人材を養成する「奈良県フォレストアカデミー」をR3年4月に開校しました。

大学との連携を進めた結果、県全体の大学との連携事業数を80件程度で維持しています。

○早稲田大学(H20～)及び近畿大学(H28～)とは、包括的な連携協定に基づき、今までに67件の事業を行っています。

○県立大学では他大学や研究機関、地域と連携した共同研究を行っています。

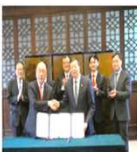
○県立医科大学では、早稲田大学と連携カリキュラムを実施しています。また、奈良先端科学技術大学院大学と工学の共同研究を進めています。



もっと良くするために

中国清華大学との交流事業を進めます。(180百万円)

○清華大学芸術博物館において奈良の歴史文化資源を活かした展覧会を開催
○展覧会の会期中に、北京市内でフォーラムを開催
○専門家及び学生等の交流を実施



清華大学との覚書締結

早稲田大学、近畿大学との連携事業を展開します。(10百万円)

○大学の高度な知的資源を活用し、重要かつ専門的な知識を必要とする県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、早稲田大学、近畿大学と連携した事業を展開

・奈良県版シュタットベルケ創生に向けた可能性検討事業



電気の地産地消

NAFICとBCC*(バスカカリナーセンター)との交流事業を進めます。(8百万円)

○NAFICの教育水準の向上並びに奈良の食のイメージアップを図るため、BCCと協定を締結し、交流事業を展開



バスカカリナーセンター

・奈良っ子食育プロジェクト



農業体験

調理体験

令和4年度予算案 198百万円

R4予算案 198,360千円

①中国・清華大学との交流 (180,384千円)

奈良県と清華大学との包括交流に関する覚書に基づく、展覧会及びフォーラムの開催、専門家及び学生等の交流

項目	交流事業概要
奈良の文化財等展示	清華大学芸術博物館において、奈良の歴史文化資源を活かした展覧会を開催
フォーラム開催	清華大学芸術博物館における展覧会の会期に合わせたフォーラムを開催
専門家交流	文化・芸術分野、医療・高齢者分野、教育分野等の専門家による相互交流
高校生交流 大学生交流	高校生交流 派遣⇒県内高校生を清華大学に短期派遣 大学生交流 受入⇒東アジアサマースクールに清華大学から受講生受入 ※講師も招聘予定



清華大学芸術博物館
展覧会場イメージ



清華大学との
包括交流に関する覚書締結

②NAFICとBCCとの連携推進 (7,770千円)

美食の街で知られるスペインのバスク州サンセバスチャン市に所在する料理専門大学のBCC (バスカカリナーセンター) との連携・交流

③大学との連携推進 (10,206千円)

重要かつ専門的な知識を必要とする県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、早稲田大学及び近畿大学と連携 ・奈良県版シュタットベルケ創生に向けた可能性検討事業 ほか



電気の地産地消

<問い合わせ先>

- ①知事公室 国際課 伊豆藏課長補佐(内線2151)
- ②食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)
- ③文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐(内線2520)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(70) 県立高校教育の充実、実学教育・インターンシップの推進

ここまで良くなりました

質の高い職業人材の育成に取り組んできました。

- 企業(DMG森精機(株)・関西電力(株))の協力を得て県立工業高校での実学教育を展開
- 企業と連携した人材育成プログラムを実施



インターンシップの推進及び仕組みの構築を図ってきました。

- インターンシップコーディネーター等をキャリアサポートセンターに配置し、インターンシップ推進のための体制を充実
- プロフェッショナル型インターンシップ(有給による期間を含む)の仕組みの構築、実施(試行)

令和4年度に全ての県立高校の耐震化が完了する見込みとなりました。

- 全ての県立学校の普通教室で空調設置が完了
- R3年2月に「奈良県立学校施設長寿命化整備計画」を策定

県教育委員会では学校再編を実施し、特色ある学校の創出を進めてきました。

- R2年度に国際高校、R3年度に奈良商工高校、高円芸術高校、商業高校、奈良南高校が開校

もっと良くするために

地域社会で即戦力となる職業人材の育成等、実学教育の充実に取り組んでいきます。(4,437百万円 [債務負担行為 301百万円]、R3・2月補正 10百万円)

- 「専攻科」の設置
 - ・宇陀高校…介護福祉士、奈良県版ラヒホイタヤの育成
 - ・奈良南高校…2級建築士、2級土木施工管理技士、測量士補の育成

- 専門教育の充実
 - ・企業と連携した人材育成プログラムのフラッシュアップ
 - ・企業実習を通して、知識や技術を身に付けることを目指す「奈良県版デュアルシステム」の促進

- 新たなコースの充実
 - ・奈良北高校数理解情報科…奈良先端科学技術大学院大学との連携協定に基づく取組の拡大

- 奈良商工高校、王寺工業高校、御所実業高校と、県立大学工学系第2学部との接続の仕方を検討

- フォレスタアカデミーの運営
- NAFICIにおいて新たなカリキュラムの導入による進路に応じた「食」と「農」の担い手を育成

- 職業訓練校(県立高等技術専門校)

- 保育士、看護師等の養成



インターンシップなど学職接続を重視したキャリア教育の充実を図っていきます。(13百万円)

- 高校生合同企業説明会の開催による県内企業とのマッチング
- 県内高校生を対象にスタートアップマインドを育むプログラムの実施
- キャリアサポートセンターにインターンシップコーディネーター等を継続配置、インターンシップ等の受入企業の拡大

県立学校施設の長寿命化対策を進めます。(1,645百万円 [債務負担行為 282百万円]、R3・2月補正 46百万円)

- 県立高校の耐震化
- 県立学校施設の維持修繕工事等
- (新)県立学校施設の長寿命化対策
 - ・長寿命化整備に向けた老朽・不具合箇所等の調査を実施
 - ・トイレ洋式化の推進
 - ・特別教室への空調設置の推進

令和4年度予算案 6,095百万円

[債務負担行為 583百万円]

令和3年度2月補正予算案 56百万円

R4予算案 6,095,084千円 [債務負担行為 582,593千円]、R3・2月補正予算案 56,376千円

1. 県が目指すもの

- 実社会で生きる知識・技能を身に付け、「社会で役立つ“実”」と「“学”校」を結びつける教育の展開
- 地方創生を具現化する、奈良県企業及び地域社会と協働した、「質の高い職業人」の育成
- 奈良県の産業・地域を支える地域人材の育成

2. 具体的な取組

- ① フォレスタアカデミーの運営 (174,260千円)
- ② なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)の運営 (164,259千円、R5～R6債務負担行為162,588千円)
- ③ 高等技術専門校における職業訓練の実施 (466,463千円、R5～R6債務負担行為138,059千円)
- ④ 看護師等修学資金の貸付や看護師等養成所の運営支援等による看護師等の養成 (375,366千円)
- ⑤ 医科大学の運営支援等による看護師、医師等の養成 (3,072,686千円)
- ⑥ 保育士修学資金の貸付等による保育人材の養成 (3,497千円、R3・2月補正予算案10,500千円)
- ⑦ 高校生合同企業説明会及びインターンシップ等によるキャリア教育の充実 (13,474千円)
- ⑧ 学校での座学と企業実習を組み合わせた即戦力となる職業人材の育成 (8,227千円)
- ⑨ 「奈良県立学校施設長寿命化整備計画」に基づく県立学校施設の長寿命化整備 (914,969千円、R5債務負担行為 281,946千円、R3・2月補正予算案 45,876千円)
- ⑩ 全県立高等学校の耐震化を令和4年度中に完了 (729,781千円)
- ⑪ 「県立高等学校適正化実施計画」に基づく県立学校適正化の推進 (172,102千円)



実習風景



インターンシップ

<問い合わせ先>

- 水循環・森林・景観環境部①森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942) 食と農の振興部②豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818) 産業・観光・雇用振興部 ③雇用政策課 福島課長補佐(内線3571) 医療政策局 ④医師・看護師確保対策室 篠原室長補佐(内線3195) ④⑤病院マネジメント課 奥課長補佐(内線3122)・吉川課長補佐(内線3162) こども・女性局 ⑥奈良っ子はぐくみ課 石川課長補佐(内線2885) 教育委員会 ⑦⑧学校教育課 尾崎課長補佐(内線5251) ⑦教育研究所 山本事務局長(0744-33-8900) ⑨⑩学校支援課 土井課長補佐(内線5281) ⑪教育政策推進課 濱田課長補佐(内線5351)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

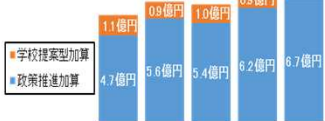
(71) 私学の振興

ここまで良くなりました

本県では私立学校の運営費に対し補助を行ってきました。私学教育の質の向上のため「政策推進助成制度(学校提案型加算、政策推進加算)」を導入し、特色のある取組に対し加算を行っています。

- 学校提案型加算…特色ある取組を学校が提案し、審査委員会で採択された場合に加算
- 政策推進加算…県が私学に求める項目について具体的な取組を実施した場合に加算

政策推進助成の金額や比率、取組件数は増加傾向にあります。

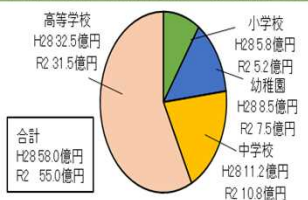


※R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校提案型加算を中止



(注)政策推進助成比率(%)=政策推進助成額(円)/私学運営費補助金(円)

各学校の生徒数や教職員数等に基づく運営費補助の割合



もっと良くするために

引き続き、私学に対しては、運営費補助や授業料等の軽減補助等の活用により、教育の質の向上を図ります。

第2期教育振興大綱を推進するため、政策推進助成は引き続き、10%程度を維持し、取組件数の増加、取組内容の充実を図ります。

○私立学校に対する運営費補助(経常費補助) (6.150百万円)

○政策推進加算項目を見直し、就学前教育における体験活動や国際化教育の取組等に加え、さらに特色のある取組を推進

・公教育の一翼を担う私立学校に対し、教育条件の維持向上や、学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費に対して補助

○事例紹介や取組内容の事前相談を実施

○私立高校等授業料等に対する支援



国際バカロレアの実践

(3.653百万円)
・家庭の経済事情のために進学を諦めることのないよう、私立学校に通う学費負担者に対して授業料等を補助(R2年度から授業料に加え、施設整備費等も対象とし、補助額を拡大)

○その他、心身障害児の受入支援やスクールカウンセラーの配置支援等、様々な補助制度を活用

令和4年度予算案 9,803百万円

R4予算案 9,802,963千円

(1) 私立学校に対する運営費補助(経常費補助)(6,149,952千円)

○ 公教育の一翼を担う私立学校に対し、教育条件の維持向上や、学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費に対して補助 (高等学校16校、中等教育学校1校、中学校10校、小学校6校、幼稚園29園)

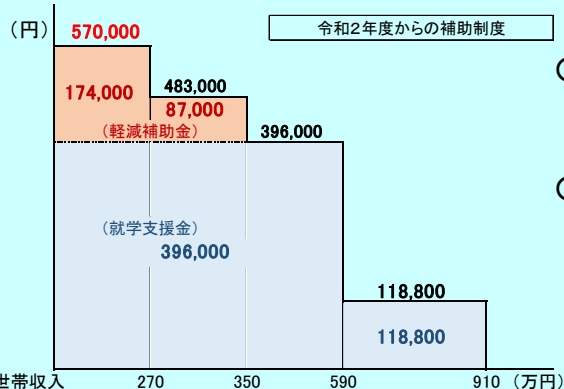
○ 県の教育課題の解決に積極的に取り組む学校に対しては補助を加算し、各学校の特色のある取組を支援



学校の特色ある取組(国際化推進)

(2) 私立高校等授業料等に対する支援(3,653,011千円)

家庭の経済事情のために進学を諦めることのないよう、私立学校に通う学費負担者に対して授業料等を補助 (授業料・施設整備費等を合わせて最大57万円まで補助)



世帯収入は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合

○私立高等学校等就学支援金(国庫)により、全国私立高校の平均授業料を勘案した水準(39万6千円)まで支援

○さらに、私立高等学校授業料軽減補助金により、低所得者世帯の方については、補助対象に施設整備費等も加えて、県独自の補助金(最大17万4千円)を支給

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐(内線2520)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(72) 教育ICTの推進

ここまで良くなってきました

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(R3年10月文科省確定値公開)において、**教員のICT活用指導力の状況の結果が、前年度より大幅に上昇しました。**

- <全国45位→16位>教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力
- <全国46位→12位>授業にICTを活用して指導する能力
- <全国45位→16位>児童生徒のICT活用を指導する能力
- <全国45位→15位>情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力

教育ICT環境の改善

教員のICT活用指導力向上

- 県域統一ドメインで1人1アカウント環境を構築しました。
- 小中学校において教育用端末の県域共同調達を行い、1人1台での活用が始まっています。
- 県立学校インターネット回線及び校内LANの高速大容量化を行いました。
- 県域で利用できる統合型校務支援システムを構築しました。

○1人1台環境に対応した教育を行うための教員研修を実施しています。

○研修リーダーとなる人材の育成を行っています。



オンラインで教員研修を実施する様子

もっと良くするために

本県の教育課題の解決を図るため、クラウドベースの情報通信技術を導入し、活用することで、**教育DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進**します。

教育情報の電子化

- 統合型校務支援システムの市町村立学校における導入を支援(3百万円)

児童生徒へのICTを活用した教育の充実

- 電子黒板を活用した授業の実施
※ R4年度分(165百万円)
- 授業目的公衆送信補償金(9百万円)

教員のICT活用指導力の向上 児童生徒への情報教育の充実

- 県立学校指導用端末配備
(R3・2月補正134百万円)
- デジタルシティズンシップ教育の充実(情報モラルの指導・メールやSNSの利用等)
- ICTを活用して情報化を推進する教員リーダー「STEAM教育エバンジェリスト」の育成
(1百万円)

ICT機器等の維持管理 ネットワークの整備・運用

- 県立学校教育用端末・校務用端末等の保守・管理・整備(476百万円)
- 県立学校学習用ネットワークの整備(13百万円)
- 県立学校インターネット回線の運用(8百万円)
- 家庭学習用モバイルルータの整備・貸与(1百万円)

Google社等との連携

- パートナー自治体プログラム
- GIGAスクール運営支援センターの整備
(R3・2月補正134百万円)



令和4年度予算案 676百万円
令和3年度2月補正予算案 268百万円

R4予算案 676,150千円、R3・2月補正予算案 267,591千円

1. 教育情報の電子化・児童生徒へのICTを活用した授業の充実 (177,002千円、R3・2月補正予算案267,591千円)

- ①統合型校務支援システムの市町村立学校への導入を支援
- ②県立学校への電子黒板の導入
・ R4年度から順次3学年分を整備
R4 1学年 164,914千円
- ③電子黒板等を活用した指導用パソコンの県立学校への導入
(R3・2月補正予算案134,035千円)
- ④GIGAスクール運営支援センターの整備
(R3・2月補正予算案133,556千円)
- ⑤統合型校務支援システム導入支援 2,800千円
- ⑥授業目的公衆送信補償金 9,288千円



2. ネットワークの整備・運用 (22,504千円)

- ①県立学校学習用ネットワークの整備
- ②県立学校インターネット回線の運用
- ③県立学校家庭学習用モバイルルータの整備・貸与



3. ICT機器等の維持管理 (476,335千円)

- ①県立学校教育用端末の保守・管理・整備
- ②県立学校校務用端末等の保守・管理・整備



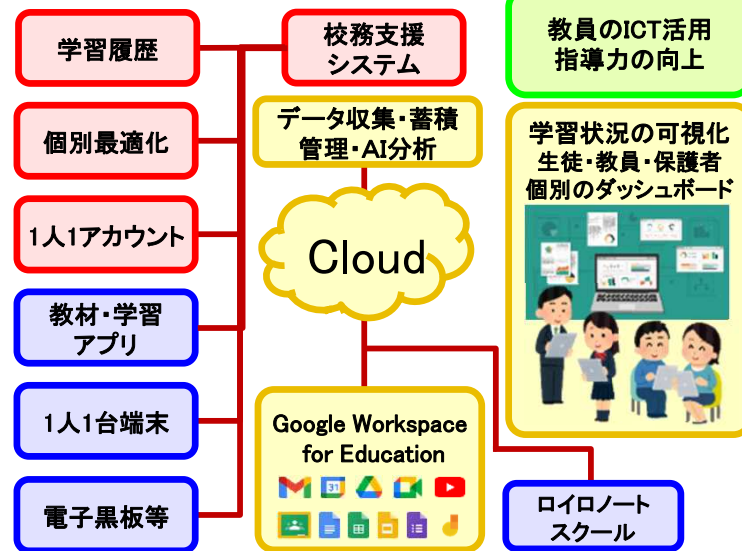
4. 教員のICT活用指導力の向上 (309千円)

- ①デジタルシティズンシップ教育の充実(情報モラルの指導・メールやSNSの利用等)
- ②ICTを活用して情報化を推進する教員リーダー(STEAM教育エバンジェリスト)の育成

教員の役割は
Teacherから**Facilitator**に



教育BigDataの活用



<問合せ先>
教育委員会 教育研究所 倉田部長(0744-33-8907)

VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興 (73) 第2期奈良県教育振興大綱の推進

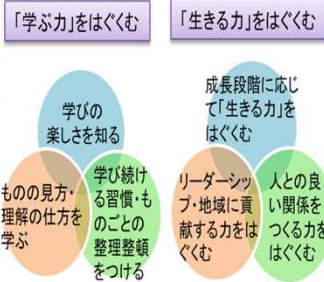
ここまで良くなりました

県の教育の振興に関する総合的な施策の大綱を定めた、「第2期奈良県教育振興大綱」を令和3年3月に策定しました。

奈良県教育が目指す方向性を「本人のための教育」とし、一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ本人のための教育を行います。

【教育施策の基本方針】

1. ことごとく身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ
4. 地域と協働して活躍する人を育てる
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる



もっと良くなるために

奈良県教育振興大綱に沿った取組を推進するため、**評価指標に基づく検証**を行います。

具体的な教育施策の実効性を高めるため、**県と市町村が協働して教育施策を推進**します。

○奈良県総合教育会議の開催(1百万円)

○奈良県教育サミットの開催(2百万円)

・知事と教育委員会で奈良県教育振興大綱の評価指標に基づく検証や教育施策に関する課題の共有や解決策について協議を行います。

・県と市町村が教育課題について情報等を共有し、協働して教育施策を推進します。



奈良県総合教育会議



奈良県教育サミット

令和4年度予算案 3百万円

R4予算案 3,443千円

奈良県教育の目指す方向性を示す「第2期奈良県教育振興大綱」(令和3年度～令和6年度)を推進

1. 奈良県総合教育会議や勉強会の開催(1,528千円)

(1) 奈良県総合教育会議を開催

知事と教育委員が、県の教育行政に関する課題の共有や解決策の検討、奈良県教育振興大綱に沿った取組の推進等に関する協議を実施

(2) 教育関係有識者との勉強会の開催

教育政策の研究を進めるとともに、教育施策の進捗状況を定期的に評価した上で次の取組に反映させ、総合的な奈良県教育を振興

2. 奈良県教育サミットの開催(1,915千円)

市町村長・市町村教育長と情報共有・意見交換を実施し、県と市町村の協働による教育施策を推進

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 池田課長補佐 (内線2520)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興

(74) 文化の振興

ここまで良くなってきました

奈良県文化振興条例を制定し、歴史文化資源の継承と活用及び文化活動を両輪とした県の特性を生かした文化を振興し、文化の都としての奈良県を創ることを宣言しました。

奈良県文化振興条例を基に、奈良県文化振興大綱を改定し、(仮称)文化活動振興大綱と(仮称)文化資源活用大綱の2つに分け策定を進めています。

○それぞれの基本理念を明確化

- ・(仮称)文化活動振興大綱
心を耕し、内面を豊かにする文化活動を促す
 - ・(仮称)文化資源活用大綱
文化資源との対話によるその本質的価値の理解
- 分野の特性に応じた施策の方向性を提示

- 奈良県の文化振興は、奈良県文化振興条例を含め以下の条例を中心に進めています。
- ・奈良県文化財防火対策推進条例(R2年10月1日施行)
 - ・なら歴史芸術文化村条例(R2年10月8日施行)
 - ・奈良県文化振興条例(R3年4月1日施行)



もっと良くするために

(仮称)文化活動振興大綱、(仮称)文化資源活用大綱、文化財保存活用大綱の3つを柱とし、それぞれの基本理念に基づきつつ、相互連携を図りながら、奈良県の文化振興を進めます。

※(仮称)文化資源活用大綱に関する施策は、「(75)文化観光推進・歴史体験 なら日記・万葉プロジェクトの継続展開」に、文化財保存活用大綱に関する施策は「(76)文化財の保存と活用」に記載

- 奈良県文化振興戦略懇話会において文化振興に係る諸課題について、有識者より意見を聴取し、県が総合的に検討



県立ジュニアオーケストラ

- 音楽団体との連携による未来の演奏家の育成(10百万円)
- ・小・中学校等での公演によるすそ野拡大
 - ・高等学校等での公演・技術指導による人材育成

- 「ムジークフェストなら2022」の開催(116百万円)

- 県内文化団体つなぐイベント推進事業(6百万円)

- 障がいの有無や年齢などにとらわれず「みんな」が参加し「たのしむ」大芸術祭を開催(68百万円)

- 美術品鑑賞等を通して、多様な文化・美術を楽しむ機会を創出するため、県立美術館展覧会を開催(38百万円)

- (新)県立美術館開館50周年記念特別展イベント「やまとぢから 仮面芸能のふるさと奈良(仮称)」を開催(20百万円)



ムジークフェストなら 奈良県みんなでのたのしむ大芸術祭

令和4年度予算案 266百万円

R4予算案 266,133千円

①ムジークフェストなら2022の開催

(116,600千円)

- ▶(新)世界遺産の社寺で10周年記念公演を開催
- ▶奈良県コンベンションセンターを会場とし、多彩なジャンルの公演を実施
- ▶なら歴史芸術文化村における子ども向け公演を開催



ムジークフェストなら(5周年記念公演の様子)

②音楽団体との連携による未来の演奏家の育成

(10,000千円)

- ▶小・中学校等での公演によりクラシック音楽のすそ野を拡大
- ▶高等学校等での公演・技術指導により、優秀な人材を育成

③奈良県みんなでのたのしむ大芸術祭の開催

(67,690千円)

- ▶障がいの有無や年齢などにとらわれず「みんな」が参加し、「たのしむ」ことのできるイベントを展開
- ▶地域・社寺等と連携した奈良の芸術文化の発信
- ▶ドライブインシアター、(新)(仮称)ユースシネマプロジェクト、(新)日露交歓コンサートの実施



奈良県みんなでのたのしむ大芸術祭(オープニングフェスティバル)

その他 ⑥県立ジュニアオーケストラ運営事業 7,600千円、⑦県内文化団体つなぐイベント推進事業 5,643千円

<問い合わせ先>文化・教育・暮らし創造部

①③⑥文化振興課 古谷課長補佐(内線2491) ②④⑤⑦文化振興課 中村課長補佐(内線2152)

④県立美術館展覧会の開催

(38,200千円)

- ▶特別展「寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディング -日本の婚礼衣裳-」(会期：4月23日～6月19日)
- ▶企画展「奈良県立美術館コレクション名品展(夏)」(仮称)(会期：7月16日～8月28日)
- ▶特別展「野田弘志展」(仮称)(会期：9月17日～11月6日)
- ▶企画展「奈良県立美術館コレクション名品展(冬)」(仮称)(会期：11月26日～12月25日)



伝 淀殿

⑤(新)県立美術館開館50周年記念特別展 プレイベントの開催

(20,400千円)

- ▶「やまとぢから 仮面芸能のふるさと奈良(仮称)」の開催
- 令和5年度開催予定の奈良県立美術館50周年記念特別展のプレイベントを実施
- ・一流能楽師による演能会の開催
- ・「仮面芸能の系譜」を知るトークイベントの実施



開催会場：奈良春日野国際フォーラム 能楽ホール



翁

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興

(75) 文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開

ここまで良くなりました

日本博のスキームを通して、奈良県の世界遺産の魅力を全国的に発信し、良質な誘客、周遊を推進してきました。

歴史的な記念年等に合わせた歴史文化資源活用の主要テーマを設定し、多彩な事業展開により、多くの方に「記紀・万葉」になじみを持ってもらいました。

- 日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念シンポジウム
- 聖徳太子没後1400年関連イベント等



聖徳太子没後1400年法隆寺特別公演芸術総遊

- これまでの主要テーマ
- 2012年 古事記完成1300年
- 2020年 日本書紀完成1300年
- 藤原不比等没後1300年
- 2021年 聖徳太子没後1400年

- これまでの主な事業
- 連続講演会、ウォークイベント、冊子制作等



記紀・万葉集大連続講演会

WEB会議などを活用し、奈良県の歴史文化資源を活かした文化・芸術分野での交流事業について、中国清華大学と協業を進めました。

もっと良くするために

「文化資源活用大綱」に基づき、奈良県の歴史文化資源の活用を推進します。

古代国家が成立した飛鳥時代をテーマに、本県が持つ歴史文化資源の魅力を発信し、誘客を促進します。

歴史文化資源との対話を通じ、歴史文化の内容、その成立過程や時代背景などについて、幅広く考えて感じていただく取組も充実していきます。

- 飛鳥宮跡再現事業
- 往時の都の魅力を実感できるコンテンツを制作
- 飛鳥の都・古典芸能再現プロジェクト
- 伎楽等の舞案に関連した催しを実施



飛鳥宮跡

令和4年以降の歴史テーマ

- ・2022年 壬申の乱1350年
- ・2023年 天武・持統天皇とその時代
- ・2024年 世界遺産「飛鳥・藤原」

中国清華大学との交流事業を進めます。

壬申の乱1350年事業を展開します。

- (新)清華大学芸術博物館において、古代中国と奈良を結ぶアジア交流史をテーマとした展覧会を開催



清華大学芸術博物館

- 講演会やウォークイベントの開催
- 壬申の乱ゆかりの地を巡る周遊イベントの開催等



ウォークイベント

文化施設を活用し文化観光を推進します。

○県全域で、文化観光拠点施設や世界遺産を活用した事業を展開し、地域活性化を推進

令和4年度予算案 309百万円

R4予算案 309,062千円

1. 「奈良県地域計画(いかす・なら地域計画)」に基づく地域活性化に資する文化観光の推進

①日本博事業への参加 (80,000千円)

テーマ「古代(飛鳥時代)の都再現・復元プロジェクト +発掘現場・修理現場の公開」



- ▶ 橿原考古学研究所附属博物館において、飛鳥京の復元模型を作成
- CG(ARを含む)を使ったコンテンツの制作
- ▶ 菊人形展の開催
- ▶ 飛鳥の都・古典芸能(伎楽等の舞楽)にかかる講演の実施 ほか

②文化施設を活用した文化観光の推進 (39,150千円)

- ▶ 社寺等と連携した地域の文化資源の理解促進
- ▶ 世界遺産等のAR・VR映像コンテンツ制作
- ▶ 橿原考古学研究所資料のデジタルアーカイブ化
- ▶ 万葉百科システムの整備
- ▶ 万葉文化館を活かす旅行商品の開発 ほか



飛鳥京の復元模型の制作



菊人形展

2. 欧州での開催ノウハウを活かし、奈良の歴史文化を発信する、新たな展覧会を実現

③ (新)中国・清華大学芸術博物館における展覧会の開催 (150,000千円)

タイトル(仮)「日中交流2000年ーアジアをつなぐ美と精神」

会期予定 2022年秋 公開日数60日以内

実施体制 奈良県・清華大学友好提携事業

監修 青柳正規(奈良県学芸政策顧問、橿原考古学研究所所長)

根立研介(奈良県学芸政策顧問、京都大学大学院教授)

出陳候補作品

奈良県からの出陳作品: 約100点を予定

- ・ 橿原考古学研究所保管の考古資料(土器、青銅鏡、珠等)、仏教美術(埴仏等)、
- ・ 県内の美術工芸品(社寺所蔵仏像、県内美術館所蔵絵画等)

中国国内からの出陳作品: 約40点を予定

- ・ 清華大学コレクション(青銅鏡等)、中国国内出土文物(墓誌、仏像等)



展覧会場イメージ



【出陳候補作品】

高松塚古墳壁画
西壁女子群像
陶板製レプリカ



内行花文鏡 下池山古墳出土

3. なら記紀・万葉プロジェクト等の継続的な展開

④なら記紀・万葉プロジェクトの推進 (31,300千円)

テーマ: 1350年を迎える「壬申の乱」

- ▶ 講演会の開催、ウォークイベントの実施
- ▶ 演劇・伝統芸能等の上演、ゆかり地連携探訪展開催

⑤歴史文化資源を活用した取組を展開 (8,612千円)

- ▶ 島根県・三重県・和歌山県・宮崎県と連携し、「古代歴史文化賞」の記念講演会を開催
- ▶ 奈良大学と共催し、全国高校生歴史フォーラムを開催

<問い合わせ先>文化・教育・くらし創造部 ①④⑤文化資源活用課 石田課長補佐(内線2530)
②③文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (76) 文化財の保存と活用

ここまで良くなりました

県内の文化財の保存と活用の指針となる「**奈良県文化財保存活用大綱**」を、令和3年6月に策定しました。



文化財建造物の修理の様子
(県指定文化財方法等本室)

- 文化財の保存と活用の視点
1. 保存と活用の一体性
 2. 文化財の把握の必要性
 3. 修復等の透明化・標準化
 4. 人材育成
 5. 地域づくり
 6. 持続する文化財保護

文化財の防火対策を総合的かつ計画的に推進するため、「**奈良県文化財防火対策推進条例**」を制定しました(R2年10月1日施行)。

文化財の防火対策の推進に関する基本理念を定め、県や文化財所有者の責務等を明らかにするとともに、文化財の防火対策を推進する基本的事項を定めることにより、文化財の防火対策を総合的かつ計画的に推進し、文化財を次世代に確実に継承します。

もっと良くするために

奈良県文化財保存活用大綱に基づき、**文化財の保存と活用の取組を推進**します。

奈良県文化財防火対策推進条例に基づき、**文化財防災対策を推進**します。

- 文化財保存事業費補助金
 - ・国指定及び県指定文化財等の保存、修理、買収等に関して補助
- (新)第64回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会
 - ・無形民俗文化財に対する理解と認識を深めるため、各府県に伝承されている民俗芸能を一室に集めた公演を実施
- (新)史跡太安萬侶墓の整備活用
 - ・保存活用計画を策定し、今後の史跡整備等の方針を検討

- 文化財防災対策の構築
- 防災施設等整備・防災設備点検等への支援



文化財防火・防火・防災関係者連絡会議

活用に関する理念及び原則を示すことで、文化財の活用の促進を検討しています。

文化財の活用に関する本県の姿勢を明確にし、根本となる理念及び原則を示すことで、活用を促進し、文化財を未来につなぐことを目指しています。



史跡太安萬侶墓

令和4年度予算案 636百万円
[債務負担行為9百万円]
令和3年度2月補正予算案 39百万円

R4 予算案 636,241千円 [債務負担行為 9,000千円]、R3・2月補正予算案 38,984千円

1. 文化財保存活用大綱における文化財保存活用の視点

1. 保存と活用の一体性

3. 修復等の透明化・標準化

5. 地域づくり

2. 文化財の把握の必要性

4. 文化財修復分野の人材育成

6. 持続性のある文化財保護

2. 令和4年度の取組

①文化財保存事業費補助金等(425,079千円、R3・2月補正予算案38,984千円)

国指定及び県指定文化財等の保存、修理、買収等に関して補助

②建造物(11,780千円)

- なら**歴史芸術文化村での公開修復**
- (新)人材育成講座の開催
- 建造物関係アーカイブの整備



県指定多坐弥志理都比古神社本殿

③美術工芸品(35,548千円)

- 国宝藤ノ木古墳出土品の保存修理
- (新)古文書講座の開催

④民俗文化財・無形文化財(8,996千円)

- 無形民俗文化財の撮影・普及
- (新)第64回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会の開催

⑤天然記念物(810千円)

- (新)「奈良の記念物」講座の開催

⑥史跡(147,367千円)

- 飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池の整備
- 高取城跡の整備
- (新)太安萬侶墓の整備
- (新)桜井茶臼山古墳の整備



史跡高取城跡石垣

⑦埋蔵文化財(2,773千円)

- (新)記念物・埋蔵文化財GISシステムの更新

⑧文化財防災対策の構築(3,888千円)

<問い合わせ先>

- 文化・教育・くらし創造部 ①～⑤、⑦⑧文化財保存課 守屋課長補佐(内線5332)
 ①文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)
 地域デザイン推進局 ⑥公園緑地課 常盤課長補佐(内線4307)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (77) 飛鳥・藤原の世界遺産登録

ここまで良くなりました

平成19年「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」が世界遺産暫定一覧表に記載されました。

○将来の世界遺産候補となる暫定一覧表へ記載された後、世界遺産登録に向けて必要な資産価値の証明、保護措置の整備、普及啓発活動などを進めてきました。

推薦書(素案)の提出

R2年、R3年の3月に文化庁へ推薦書(素案)を提出しました。文化審議会世界文化遺産部会での審議、課題の提示などを受けて、推薦書(素案)のブラッシュアップを行ってきました。



主要構成資産である藤原宮跡



世界遺産ジャーナル創刊号

普及啓発活動の取組

「飛鳥・藤原」の世界遺産としての価値の理解や、登録への機運醸成を図るため、首都圏、県内などで講演会の開催、世界遺産ジャーナルの発行など、多くの方々に「飛鳥・藤原」への関心をもっていただきました。

もっと良くするために

令和6年7月の世界遺産登録を目指します。

推薦・登録の準備

R4年3月に推薦書(素案)を提出し、同年の国内推薦決定を目指します。正式推薦に必要な推薦書の修正や、さらなる資産の保護、必要となる課題の解決を図ります。

構成資産の整備

主要構成資産である飛鳥宮跡の暫定整備を行います。飛鳥宮跡と飛鳥京跡苑池の発掘調査、史跡・景観整備を進めています。

登録に向けた普及啓発の継続

「飛鳥・藤原」世界遺産登録にむけて、橿原市・桜井市・明日香村と連携し、首都圏および県内においてシンポジウムや普及啓発のイベントなどを開催、世界遺産ジャーナルを引き続き発行し、県内外においてさらなる登録への機運醸成を図ります。

登録までの最短スケジュール

- R4年12月 国内推薦決定
- R5年2月 推薦書をユネスコへ提出
- R5年9月 イコモス現地調査
- R6年5月 イコモス勧告
- R6年7月 登録審議・登録

令和4年度予算案 141百万円



飛鳥宮跡

飛鳥京跡苑池

R4予算案 140,965千円

①「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推進

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会(県・橿原市・桜井市・明日香村)での取組(12,540千円)

- ・推薦書(素案)、包括的保存管理計画等の準備、文化庁等との調整
- ・国内外専門家等への意見聴取や視察の対応
- ・国際会議等の開催



専門家の視察対応

②世界遺産と「飛鳥・藤原」の価値を分かりやすく伝えるために

(1)世界遺産ジャーナルの発行(2,200千円)

「飛鳥・藤原」とともに県内既登録の3資産と世界遺産の仕組みを紹介



飛鳥宮跡

(2)世界遺産講演会等の実施(12,300千円)

世界遺産条約50年の節目に、奈良県の3件の世界遺産を首都圏にてアピール
世界遺産を目指す「飛鳥・藤原」の価値を県・国内外へ発信



世界遺産講演会のイメージ

③県管理資産の説明力向上と価値の発信

飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池の整備・活用 (113,925千円)

- ・飛鳥宮跡を整備し、史跡を視覚化
- ・飛鳥宮跡内郭の全体像を明らかにする発掘調査と成果の発信



整備イメージ(柱による遺構表示)

令和6年の世界遺産登録を目標に事業を推進

<問い合わせ先>文化・教育・くらし創造部

①②文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507) ③文化財保存課 光石課長補佐(内線5341)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (78) なら歴史芸術文化村の活用

ここまで良くなりました

なら歴史芸術文化村が、令和4年3月21日(月・祝)に開村します。

「なぜ？」が芽生える。「知る」を楽しむ。

- 活動の理念**
- 来村者との対話や交流を重視した双方向のプログラムによる取組を展開し一人ひとりの感性や知識、関心に寄り添い、自発的な学びを支える
 - 文化村近傍だけにとどまらず、山の辺の道など関連する地域を一体としてとらえた地域振興策等を展開
 - 文化村における取組の質の向上のため、多種多様な分野の人脈を構築



もっと良くするために

なら歴史芸術文化村を歴史文化、芸術文化の推進拠点として活用します。

来村者と地域の交流促進に活用します。

歴史文化資源の継承・活用事業 (205百万円)

- 文化財修復作業の公開
- 修復された文化財の展示
- 社寺・修復関係者など「語り部」との交流
- VR映像、触れるレプリカ等による文化財鑑賞
- 「古代ものづくり」等の体験プログラム
- 修復作業の担い手育成(建築大工等)

観光・産業等の分野と連携した地域振興事業 (12百万円)

- 文化村フェスティバル
- 食と農について学ぶ講座・料理教室
- 県産農産物等の魅力を発信するフェア
- 伝統工芸ワークショップ・展示会
- 歴史文化資源や芸術、観光などの情報発信

持続的・効果的な施設運営を図ります。

芸術文化活動の振興事業 (60百万円)

- 幼児向けアート・音楽プログラム
- 国内外のアーティストの招聘・交流(作品展示、ワークショップ等)
- 能楽体験教室
- ホール等を活用した芸術文化イベント

官民連携による運営等 (459百万円)

- コミッション、運営協議会
- 天理駅、奈良公園との直通アクセス
- 情報発信・プロモーション
- SNSの活用
- ジャーナル発行
- 教育旅行誘致など

令和4年度予算案 736百万円

R4予算案 735,961千円

「なぜ？」が芽生える。「知る」を楽しむ。

1 文化村でつながる、文化村から広がる

～地域の魅力を歴史や芸術とつなげて広く発信～

2 来村者にやさしい文化村で、楽しい体験

～サービスデザイン思考によるプログラムの実施～

3 文化村でみんなが学ぶ

～来村者だけではなく、関係者全員が学べる～

1. 歴史文化資源の継承及び活用 (204,579千円)

- 文化財修復作業の公開・解説
- 文化財に親しむための企画展、体験プログラムの実施
- 公開・解説を行う県指定文化財に対する補助
- 修復対象文化財のビフォーアフターの記録映像を制作
- 文化財の細部の構造等を観察できるVR映像等を制作



仏像VR映像イメージ

3. 観光・産業等の分野と連携した施策の実施による地域振興 (12,500千円)

- 食と農の情報発信、セミナー・フェアの開催
- 伝統工芸ワークショップ・展示会の開催
- 子ども食堂との連携



情報発信棟

2. 芸術文化活動の振興 (59,840千円)

- トップアーティストの作品展示・交流イベントの開催
- アーティストによるワークショップの実施
- 幼児向けアート・音楽プログラムの実施
- 能楽体験教室の実施
- ムジークフェストならの開催



幼児向けアートプログラム



©NARA pref.

4. その他運営等 (459,042千円)

- 文化村フェスティバル、開村一周年記念イベント
- 指定管理者による農産物の直売、レストラン等の運営
- アクセスバスの運行



直売所・伝統工芸品ショップ

<問い合わせ先> 文化・教育・くらし創造部 なら歴史芸術文化村整備推進室 浦野室長補佐(内線2510)

VI 智恵の「都」をつくる 20 海外との交流展開 (79) 国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展

ここまで良くなりました

お互いに学び合う姿勢で国際交流を続けてきています。

○中国・陝西省と韓国・忠清南道とは、R3年で友好提携を締結してから10周年を迎えました。



○スイス・リース林業教育センターの協力を受け、森林管理を担う人材を養成する「奈良県フォレスターアカデミー」をR3年4月に開校

○ウズベキスタン・サルカンド州と、R3年12月に友好提携を締結

○中国・清華大学とは、今後の交流を進めるためにWEB会議を定期的に実施

東アジア地方政府会合では、会員地方政府が共通する課題について、学び合い、交流を深めてきました。

○会員は2010年設立時の6カ国40地方政府から7カ国75地方政府に増加
○今回の第11回はインドネシア・西ジャワ州、第12回は中国・山東省臨沂市で開催



西ジャワ州との友好提携を推進する東アジア地方政府会合
第4回東アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良県フォーラム



西ジャワ州との友好提携を推進する東アジア地方政府会合
第4回東アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良県フォーラム

R4予算案 283,110千円

① 友好提携地方政府等への訪問団の派遣・受入等 (21,763千円)

・**新** 新たに友好提携を締結したウズベキスタン・サルカンド州に訪問団を派遣

- ・スイス・ベルン州に訪問団を派遣
- ・中国・陝西省や韓国・忠清南道等から、代表団や学生などの訪問団を受入



ウズベキスタン・サルカンド州との友好提携締結

② 中国・清華大学との交流 (180,384千円)

- ・中国・清華大学芸術博物館において奈良の歴史文化資源を活かした展覧会やフォーラムを開催
- ・専門家及び学生等の交流を実施



清華大学芸術博物館 展覧会場イメージ

③ スイス・リース林業教育センターとの交流 (14,820千円)

- ・奈良県フォレスターアカデミーの授業として、リース校でスイスの森林環境管理を学習
- ・アカデミー名誉校長（リース元校長）からのアドバイス等

④ NAFICとBCCとの連携推進 (7,770千円)

- ・美食の街で知られるスペイン・バスク州サンセバスチャン市に所在する料理専門大学のBCC（バスクカリナリーセンター）と連携協定を締結し、交流事業を実施

⑤ 第11回東アジア地方政府会合等の開催 (33,052千円)

- ・インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市で開催される第11回会合へ奈良県代表団を派遣
- ・会員地方政府主催の分科会の開催を支援
- ・日本アスペン研究所と連携し、NAFIC附属セミナーハウスでのセミナー開催を支援
- ・**新** 外国語セミナーを誘致・開催支援

⑥ アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2022の開催 (25,321千円)

- ・「奈良平城京-ERIAアジアコスモポリタン賞」の第5回受賞を記念し、授賞式及び受賞記念フォーラムを開催



もっと良くするために

奈良県の国際交流の強化・拡大を図ります。

○友好提携地方政府への訪問団等の派遣・受入等 (21百万円)

- ・スイス・ベルン州に高齢者分野等にかかる訪問団を派遣
- ・**新**ウズベキスタン・サルカンド州に訪問団を派遣
- ・友好提携地方政府からの訪問団を受入



ウズベキスタン・サルカンド州との友好提携締結

○中国・清華大学との交流 (180百万円)

- ・清華大学芸術博物館において奈良の歴史文化資源を活かした展覧会を開催
- ・展覧会の会期中に北京市内でフォーラムを開催
- ・専門家及び学生等の交流を実施

○新たな海外地方政府からの訪問団を受入れ、友好提携を推進(1百万円)

○奈良県フォレスターアカデミーの学生がスイスの森林管理を学ぶため、リース林業教育センターと交流事業を実施(15百万円)

○BCC*(バスクカリナリーセンター)とNAFICが連携協定を締結し、交流事業を実施(8百万円)
*BCC=スペイン・バスク地方にある世界的な4年制の料理専門大学

東アジア地方政府会合の充実発展に取り組みます。

○東アジア地方政府会合の開催等(33百万円)
・インドネシア共和国・西ジャワ州で開催される第11回東アジア地方政府会合へ奈良県代表団を派遣
・日本アスペン研究所と連携し、NAFICでのセミナー開催を支援するとともに、**新**外国語セミナーを誘致

○奈良平城京-ERIAアジアコスモポリタン賞の第5回受賞を記念して、授賞式及び受賞記念フォーラムを開催(25百万円)

令和4年度予算案 283百万円

＜問い合わせ先＞

知事公室 ①②国際課 伊豆藏課長補佐(内線2151)、⑤⑥秋本主幹(内線2536)
水循環・森林・景観環境部 ③森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942)
食と農の振興部 ④豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)